-7かるた貸し出します



PETボトルマーク







アルミ帝マーク



信州リサイクル製品認定マーク





クールチョイスマーク



国際フェアトレード認証ラベル



アールエスピーオーにんしょう







ゅうきジャス 有機JASマーク





カラセヒいょう セほうそう 紙製容器包装マーク

紙)に印刷した教材を作成しました。

知っておいてもらいたい 30 種類を選びました。

家庭で地球温暖化防止に挑戦する環境教育プログラ ム用冊子『**2050 信州ゼロカーボンチャレンジ**』の付 録の「環境マークかるた」を、大判・厚紙(FSC 認証

かるたに掲載の環境マークは、特に長野県内の子どもたちに

実験機器同様、お貸し出しできますので、ふるってお申込みください。

〈セット内容〉絵札30枚 読み札30枚 予備札各1枚 説明札1枚



紙パックマーク



スチール帝マーク



牛乳パック再利用マーク





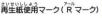














植物油インキマーク



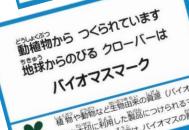




グリーンパワーマーク







つくる人の暮らしもデっています 人が手をあげた ポーズの 国際フェアトレード認証ラベル 植物や動物など生物出来の幽線 UCイオマ 開発議上国の演奏や製品が公理な業。祥で でいたがに利用した製造につけられるマ Wilcommuna かられていることができます。 Wilcommuna できることができます。 Estate Senson ハベヘッルでかかしたかいにしてイナマスの割合 カ。マークの年の数字は、バイオマスの割合 サントにいっしてするの 血 マッ・ナントの 血 対 の ことを示すマーク。

小学校で体験していただきました

2022年2月、小学校数に応じて長野県・郡市小学校長会に進呈、希望す る小学校に配布していただいたところ、早速、取り組んでくださった学校か ら感想が寄せられました。

- かるた形式なので楽しみながら初めてのマークを知ったり、様々なマークの成 り立ちを理解したりしていくのに役立つと思いました。(6年理科)
- ●総合の時間に SDGs に取り組んできたまとめにもなり、活動の動機づけにも なりそうです。「すごく楽しかったー!」と話しています。(5年総合)
- 実際こんなところにマークがついているとわかる写真があると、今後さらに関 心を持ってマーク探しをするのではないかと思います。(4年社会)

他にも、家庭科・休み時間などでの活用をご報告いただいています。





●地球温暖化防止活動推進センター通信●

活動を若い世代に! 第11回ながの環境団体大集合 開催

今年も「ながの環境団体大集合」(長野市センター共催)が 令和4年1月30日に開催されました。主催の「ながの環境 パートナーシップ会議」は、市民・事業者・行政の3者が連 携協働し、「長野市の環境ビジョン」実現のため、様々な環境 保全活動を進めていく組織です。

本年はテーマを「みんなの未来を考えよう」とし、活動状 況や思いを交換するグループワークも取り入れ、会員の皆様



はもちろん、環境問題に関心のある多くの方々が参加されました(Zoom 27名、YouTube 122 ビュー)。 活動を若い世代に伝えようという試みから、今年は企画段階から若い社会人や学生さんに加わってい ただき、企画を練り上げてきました。その結果、コロナ禍であっても、リアル会場(長野市勤労者女性

会館しなのき)と参加者をオンラインで結ぶ WEB 会議のスタイルにて実施できました。

内容は、河西理事の講演、チーム活動の発表、高校2年のときにゴミ拾いの楽しさに魅了 され、人気番組「逃走中」と融合した『清走中』を考案し活動中の北村優斗氏の講演。そし て参加者による意見・感想交換会でした。若い方々に少しずつ、バトンを渡していけると良いですね。



異常気象下での生活の見直し

永井 茂富 [長野市]



温暖化に伴う異常気象は、経済優先の私たち"人"の引き起こしたものであることは間違いありません。昨夏は連日の酷暑でしたが、冬は逆に厳寒でした。

私は「植物」をライフワークにし、この半世紀、長野県内を中心に観察を続けてきました。ここ 10 数

年、特に異常気象を痛感してきています。この1年を振り返ると、早春にはサクラ、アンズなどの開花が異常に早かったり、初冬を迎えている11月頃は逆に紅葉が遅れ、早春のスミレやニリンソウ等の花が咲いていたりと、驚かされることが多かったです。

また、最近の人々の生活が自然から遠ざかってきているように感じてならないのです。市内を歩くと、周囲に木を植えていない新築の家が多く、酸素を生み出す木がなくて大丈夫だろうかと心配になります。帰化植物が繁茂した荒地が目立ちます。郊外や山地の田畑に、人(特に子ども)の姿がほとんど見られなくなってしまいました。間伐も進まず、帰化植物が入り込み、在来種の草木がどんどん貴重(絶滅危惧種)になってきています。

今こそ、子孫のために貴重な自然を守る"温暖化防止活動"を 推進していきたいと決意し、ご支援・ご協力を願っています。



故郷・千曲市のアンズ (2021.3.28 撮影) かつては4月初旬に開花していたが、 2021 年は3月中に満開に。 遅霜のためアンズの収穫は激減した。

私たちの生活に自然を取り戻し、自然の現状を正しく理解し、自然を守っていく必要があります。 そのことが、私たち自身の暮らしや健康を守っていくことにつながっていると確信しています。

県センターHP をリニューアル!

- ①メインキャラクターはアルクマ
- 2対象別のガイドページを新設

(長野県民・事業者・推進員・教育関係のみなさま/こどものページ)

- SNS (Facebook ∕ Twitter)をトップページに表示
- ⁴キーワード検索も可能に

ぜひアクセスしてください。 https://nccca.or.jp/

